

事前指導にご活用ください！

横浜市歴史博物館平成 29 年度企画展

「君も今日から考古学者！ 横浜発掘物語 2017」 小学校団体向け案内
会期：4月4日（火）～6月11日（日）

「大昔の人は、なにを食べていたんだろう？」「どんな家に住んでいたのかな？」

企画展示室では、横浜市域からの出土資料によって、モノから歴史を考える考古学の世界をわかりやすくご紹介します。（公財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター・横浜の遺跡展「弥生人 GO・濠・業！」を同時開催します。

みどころ

プロローグでは、参加型の展示（「遺跡が埋まる？」「ご近所の遺跡を探そう！」）で、どのように遺跡が埋まるのか、どこに遺跡があるのかを実感してもらいます。

第1章「土器のかけらをひろったよ！」は、「子どもがひろってきた土器のかけら」を手がかりにして、そこから何がわかるのか、という切り口の展示です。土器のかけらを観察してワークシートにスケッチし、それがいつの時代の何に使われた土器なのか、どうしてそれがわかるのか、を調べていきます。

第2章「大昔のなぞにせまる！」は、大昔の暮らしについていくつかの質問を設定し、それに答えていく形のコーナーです。もし子ども達から質問があれば、今後の展示の参考にしますので、ぜひお知らせください。

第3章「ここが見どころ！大塚・歳勝土遺跡」は、遺跡公園と常設展示室原始Ⅱにおける学習をサポートするコーナーです。遺跡ガイドでお話しする内容を、パネルと資料で予習／復習できますので、ぜひガイドとあわせてご活用ください。

参加型コーナー（平日に実施しているもの）

・ワークシート

ワークシートを全員配布いたします。当日来館時に受付で、学校ごとに人数分まとめてお渡しします。下見時に持ち帰りをご希望される場合は、お申し出ください。博物館 HP から PDF でダウンロード可能です。

回答パネルは展示の最後に掲示してあります（回答のコピーは先生にお渡しします）。

・遺跡が埋まる？

ケースの横に置かれたコーンクッションを一人一つずつケースに入れて積んでいくことで、だんだん遺跡が埋まる様子を再現します。小学生の皆さんもぜひ参加してください。

※毎日お昼頃、展示のこのコーナーの状況を撮影します。撮影した写真は、SNS や事業報告等に使用させていただきます。撮影時にはお声がけしますが、写真に写りたくない場合はよけていただくようお願いします。公開時は、個人が特定されないよう加工させていただく場合があります。

埋まっていく様子の写真は、横浜市歴史博物館の公式ツイッターにて公開しています。

@yokorekihaku あるいは #遺跡が埋まる で探してみてください。

・ご近所の遺跡を探そう！

展示室の壁面に、大きな横浜市の遺跡地図が貼ってあります。「学校シール」をお渡しするので、学校名を記入の上で学校の場所に貼ってください。学校の近くにどんな遺跡があるのか、子ども達に実感してもらいます。

(申し訳ありませんが、横浜市以外の地図は準備しておりません。)

注意事項

・常設展示室・企画展示室ともに、ケースに入っていない資料がありますが、基本的には資料にさわるとは禁止です。

・企画展示室にある土器に模様をつけるコーナーでは資料にさわることができますが、そつとさわるようにしてください。このコーナーでは、油粘土に模様をつける体験をすることができます。竹べらなどの道具が置いてありますので、これらを振り回す等の危険な行為がないようご注意ください。

・ワークシートに記入する際に、ガラスケースに手をついたり、台にしたりしないようにしてください。

・展示室内は撮影可ですが、フラッシュの使用禁止です。